

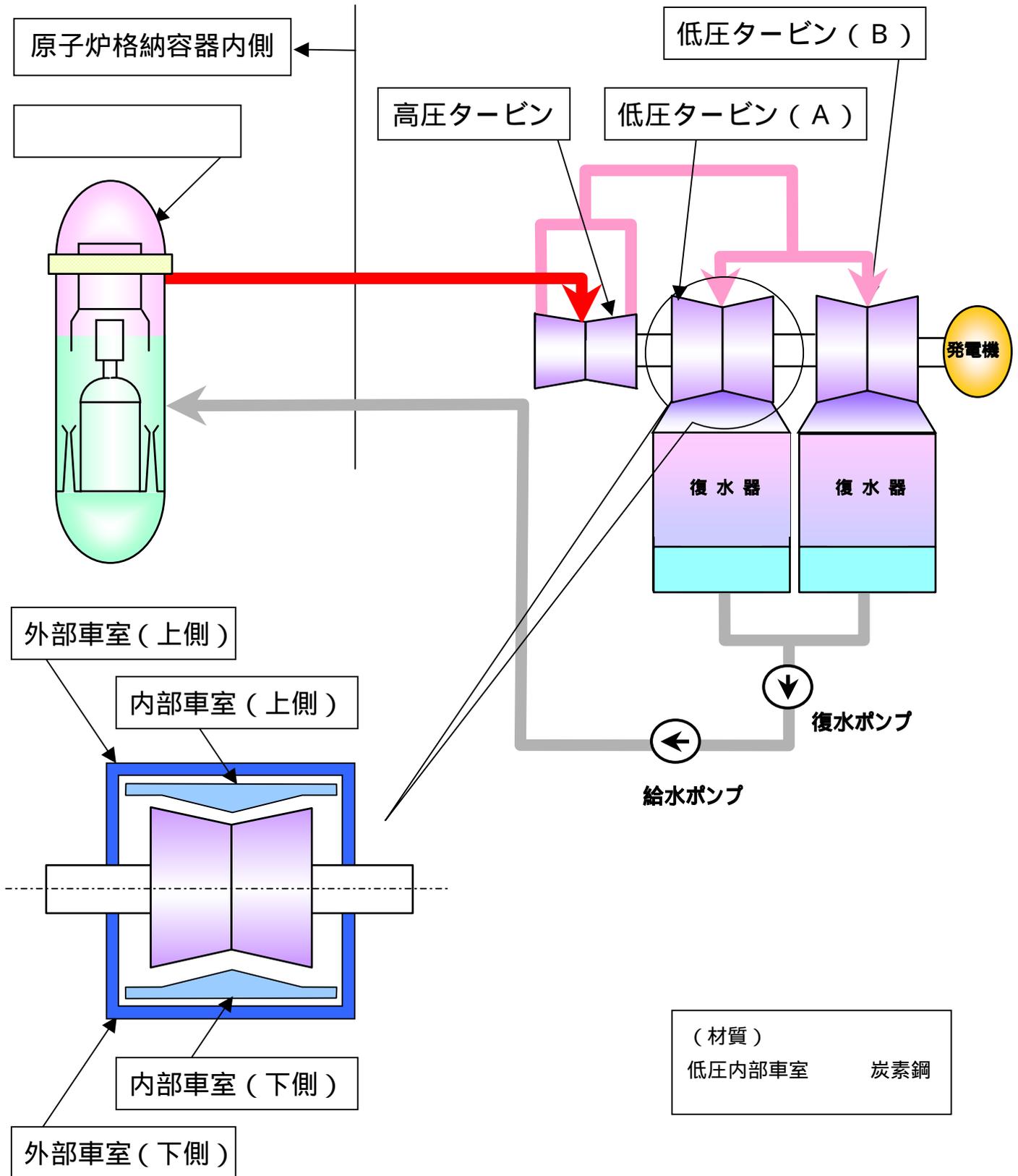
女川原子力発電所 3号機第 1 回定期検査主要機器点検情報

(平成 15 年 3 月分)

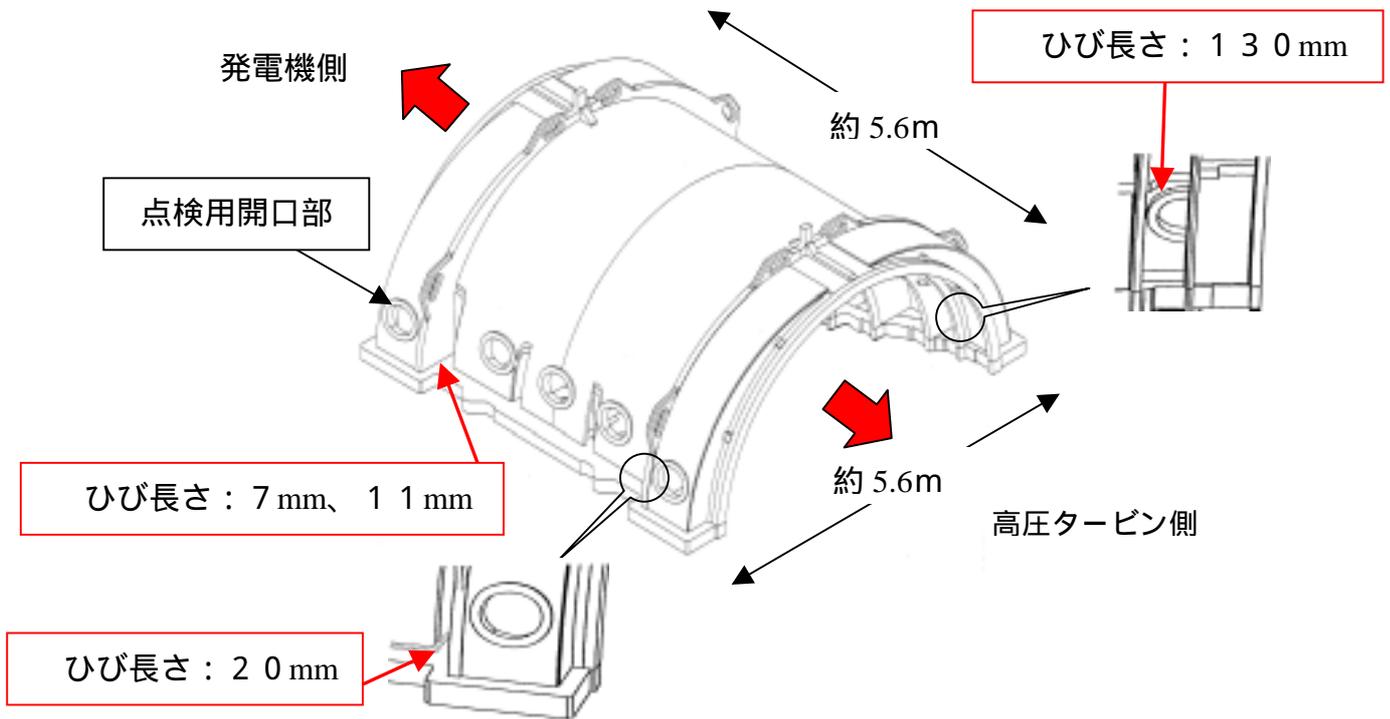
No. 2

1. 件 名： 低圧タービン (A) 内部車室の溶接部のひびについて
2. 月 日： 平成 15 年 3 月 14 日 (金) (発生 発見 確認)
3. 場 所： タービン建屋
4. 設 備： 蒸気タービン設備
原子炉で発生した蒸気でタービンを回して発電する設備です。
蒸気タービン設備は、高圧タービン 1 台と低圧タービン 2 台で構成されています。
5. 所 見：
 - ・ 蒸気タービン開放検査において、液体浸透探傷検査を行ったところ、低圧タービン (A) の内側の車室の 4 箇所の溶接部に 5 個のひび (長さ約 7 mm ~ 約 130 mm) が認められました。
 - ・ ひびのあった溶接部については、ひびを除去した後、液体浸透探傷検査によりひびが完全に除去されていることを確認しました。なお、3 月 19 日に国の蒸気タービン開放検査を受検済みです。
 - ・ ひびが認められた部位は、いずれも外側および内側の両面から溶接しており、片側の溶接線の一部を取り除いたとしても、十分に必要な強度を満足していることから、蒸気タービンの健全性に影響をおよぼすものではありません。なお、内部車室は、外部車室で覆われており、内部車室のひびにより、蒸気が外部に漏れる事はありません。

低圧タービン概略図



(1) 低圧内部車室 (上側) ひび位置図 (A系)



(2) 低圧内部車室 (下側) ひび位置図 (A系)

